

第10章 2. ヨーロッパ諸国の海外進出
b. アメリカにおける植民地争奪

- ①中央・南アメリカ…[1 **スペイン**]の植民地が多い(ブラジル=[2 **ポルトガル**]領)
[3 **奴隷**]を用いた大農場([4 **プランテーション**])が多い。
 - ②北アメリカ…
 - ・オランダ=[5 **ニューネザールランド**]植民地(現在の[6 **ニューヨーク**]植民地)
 - ・フランス=[7 **ルイジアナ**]植民地(ミシシッピ流域)、[8 **カナダ**]
→先住民と結び[9 **毛皮**]取引などに従事
 - ・イギリス= 17世紀初頭の[10 **ヴァージニア**]植民地以後、大西洋岸に植民地建設
→オランダから[11 **ニューネザールランド**]植民地を奪い、[12 **ニューヨーク**]と改称
- ↓
- 18世紀までに[13 **13**]州植民地が北アメリカ[14 **大西洋岸**]に成立
- ↓
- [15 **フランス**]との間で断続的に争いをくり返す([16 **第二次英仏百年**]戦争)

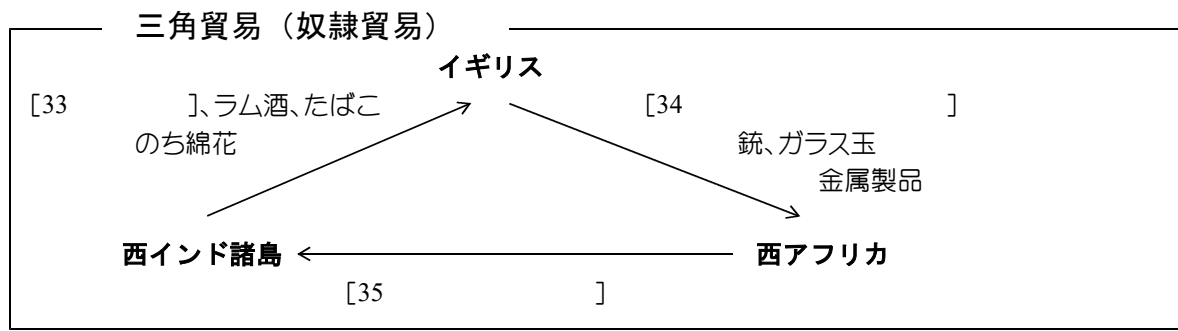
c. 三角貿易

16世紀スペインの植民地で[17 **鉱山**]開発は多くの労働力を必要としたため、アフリカからの[18 **奴隷**]貿易を急速に発展させた。17世紀になって[19 **茶を飲む**]風習が普及すると[20 **砂糖**]への需要が急増、イギリスなどは西インド諸島などで大規模な[21 **プランテーション**]を経営、大量の奴隷を「輸入」した。

イギリスは武器や雑貨など[22 **工業製品**]をアフリカに輸出、その地で[23 **奴隷**]を獲得、[24 **大西洋**]をわたってアメリカにおくり、[25 **砂糖・たばこ**]などと交換するという[26 **三角**]貿易が盛んとなった。その出発点となった[27 **イギリス**]リバプールなどには多くの富が集積されるとともに、奴隷貿易で必要な工業製品の生産が刺激され[28 **産業革命**]の条件をつくった。

三角貿易で用いられた交易品で多く用いられたのが[29 **インド**]産の[30 **綿織物**]であった。このことがインド進出をめぐる英仏の対立の背景にあった。こうした奴隷貿易で奴隷としてアメリカに運ばれた成年人口は[31 **一千万**]人にのぼるとされ、アフリカの伝統的な社会や経済に深刻な打撃を与えた。

また奴隷獲得をめざす[32 **部族**]間の争いが激化、経済的にも奴隷貿易に依存する国々が現れるなどアフリカ社会に深刻な打撃を与えた。



第11章 欧米における近代社会の成長 2. アメリカ独立革命

a. 北アメリカ植民地

- ①イギリス領[36 **13**]州植民地=北アメリカの大西洋岸に形成(1730年代まで)
ア) [37 **宗教的**]移民などが多く、[38 **農業**]や貿易など定住をめざす移民が多い
→先住民との融合は進まない
- イ) [39 **民主主義**]的な政治体制を発展させる→1619[40 **植民地**]議会設置、大学の設立、新聞発行(ヴァージニア州)
- ウ) 北部…[41 **自営農業**]による農業と[42 **商工業**]が発達

南部…[43 **奴隷**]を使用し、[44 **タバコ**]や米を栽培する[45 **プランテーション**]が発展(大農園)

- ③イギリス…[46 **重商主義**]政策をとり、商工業の発達を抑圧→無理押しはしない
イギリスの商業に利権を独占させる政策
植民地側…インディアンと結び[47 **フランス**]との対抗上、イギリス本国に協力

- ④[48 **七年**]戦争(フレンチ=インディアン戦争)→パリ条約でフランス勢力を一掃→英と対立激化
- ↓
- イギリス本国による[49 **重商主義**]政策の強化、砂糖税・[50 **印紙**]税など課税(1765)
→植民地側の反発高まる(「51 **代表なくして課税なし**」)→印紙法撤廃

「代表なくして課税なし」… 52 **税金の使い道は納税者の代表がきめるもので税をとるなら代表出させ**

ろ. との主張

- ④ 1773 英、[53 **茶**]法制定→植民地、[54 **ボストン茶会**]事件を起こし抵抗

17世紀中期のフレンチ=インド=インディアン戦争の結果、[55 **フランス**]の圧力が低下すると、イギリス領[56 **13**]州植民地は、[57 **重商**]主義をとり商品市場・原料供給地として利用しようとするイギリス本国との対立が激化しはじめた。そして重税(たとえば[58 **印紙**]法 1765年)を課せようとする本国への反発がよまるなか 1774年[59 **ボストン茶会**]事件が勃発、翌年には独立戦争へと発展した。

b. 独立戦争

- ①英、マサチューセッツ弾圧法→第一回[60 **大陸**]会議を開催、イギリスを批判、抗議([61 **フィラデルフィア**]で開催)
- ② 1775年 [62 **レキシントン**]・コンコードの戦いをきっかけに英軍と植民地軍の戦闘発生
植民地軍総司令官[63 **ワシントン**]
- ③独立論の高まり
ア) 1776.1 トマス=ペイン…[64 **コモンセンス**] (常識)発表
- イ) 1776. [65 **7月14日**]…[66 **独立宣言**]発表(起草者[67 **トマス・ジェファソン**]ら)

[68 **民主主義**]の基本原則を示す